

くじらバスが行く



観光ガイドが同行



南さつまの旅

砂の祭典会場から**無料(バス料金)**でご案内！
※ただし、各施設の入館料等は各自負担となります。

～各コースのご案内(雨天時)～

平成28年5月1日～5日 午前1便・午後1便

発着所①

10:30発	砂の祭典会場(10:30発)→→くじらの眠る丘・ふるさとくじら館 →→万世特攻平和祈念館(150円) →→南薩鉄道記念館(200円)→→砂の祭典会場(12:30着)
13:30発	砂の祭典会場(13:30発)→→杜氏の里笠沙・笠沙美術館(150円) →→くじらの眠る丘・ふるさとくじら館→→→砂の祭典会場(15:35着)

平成28年5月7日～29日 土日 午後1便

発着所②

12:30発	砂の祭典会場(12:30発)→→歴史交流館金峰(150円) →→南薩鉄道記念館(200円) →→万世特攻平和祈念館(150円)→→砂の祭典会場(14:30着)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------



くじらの眠る丘

平成14年1月22日、14頭のクジラが座礁。そのうちの1頭の骨格標本を展示するほか、当時の救出の様子を紹介している。潮吹きもみることができる。



大浦特産品直売所ふるさとくじら館

地元で生産される新鮮な朝どれ野菜は農家から毎朝届けられる。隣接する加工センターで作られる、蒸しパン風の郷土おやつ、ふくれ菓子「福麗女房」（ふくれかか）が大人気。



万世特攻平和祈念館

本土防衛、沖縄決戦の陸軍航空基地として4か月間だけ使用された「幻の特攻基地」の万世陸軍飛行場跡に建てられた祈念館。当時の遺品や関係資料が数多く展示されている。



南薩鉄道記念館

大正3年(1914)から約70年、地域の人々の交通手段として活躍した南薩鉄道を語り継ぐ記念館。内閣総理大臣西園寺公望名の鉄道免許状をはじめ、当時のダイヤグラムや車両部品など貴重な資料が並ぶ。



焼酎づくり伝承展示館 杜氏の里笠沙

鹿児島で酒といえば焼酎のこと。杜氏による焼酎づくりの技術や伝統を文化遺産として保存継承するために作られた施設。職人の技を間近に見ることができるだけでなく、焼酎の展示販売も行われる。黒瀬杜氏の手作り焼酎はコクのある風味と香りで人気が高い。



笠沙美術館

様々な企画展を開催し、美術作品を公開。美術館の窓から眺めると東シナ海の美しい景色が一枚の風景画のように見える。



歴史交流館金峰

旧石器時代から近世にいたるまでの南さつまの歴史と文化を展示物で紹介。石器時代の交流から、阿多地方に住んでいた隼人と律令国家との関わり、万之瀬川流域の中世社会や海外との交易の様子などを見ることができる。また南さつまに伝わる神話にゆかりのある木花咲耶姫の砂像も展示している。

